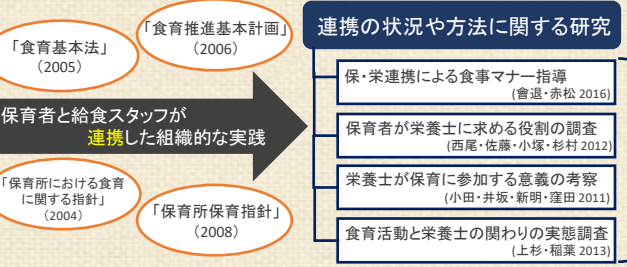


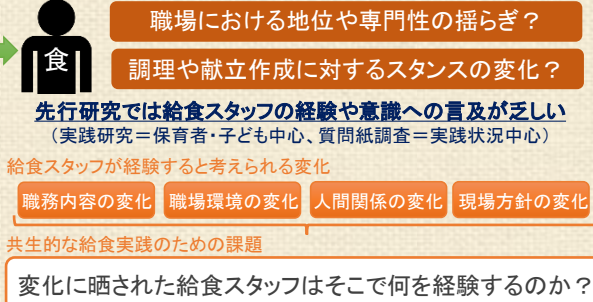
職務内容および職場環境の変化に伴う給食スタッフの苦悩と意識変容のプロセス : 認定こども園に勤務するS氏の事例

境愛一郎(宮城学院女子大学)・栗原啓祥(認定こども園 清心幼稚園)・山田徹志(玉川大学)

● 保育における食育実践・研究の動向



● 実践の変化が給食スタッフに意味するもの



目的

職務内容・職場環境等の変化に直面した際の給食スタッフ^{*}の経験や意識変容のプロセスを描き出す
* 栄養士、調理員など給食調理等に関わる人員の総称

方法

● 対象者の選定と概要

対象: S氏(20代)
 資格: 栄養士(短大)、調理師(実務)
 現職: 私立の認定こども園で勤務
 献立・調理の総責任者として3年目
 職歴: 特別支援学校(3年)→児童養護施設(1年)
 選定理由: 複数の施設を渡り歩き“変化”を経験

● インタビュー

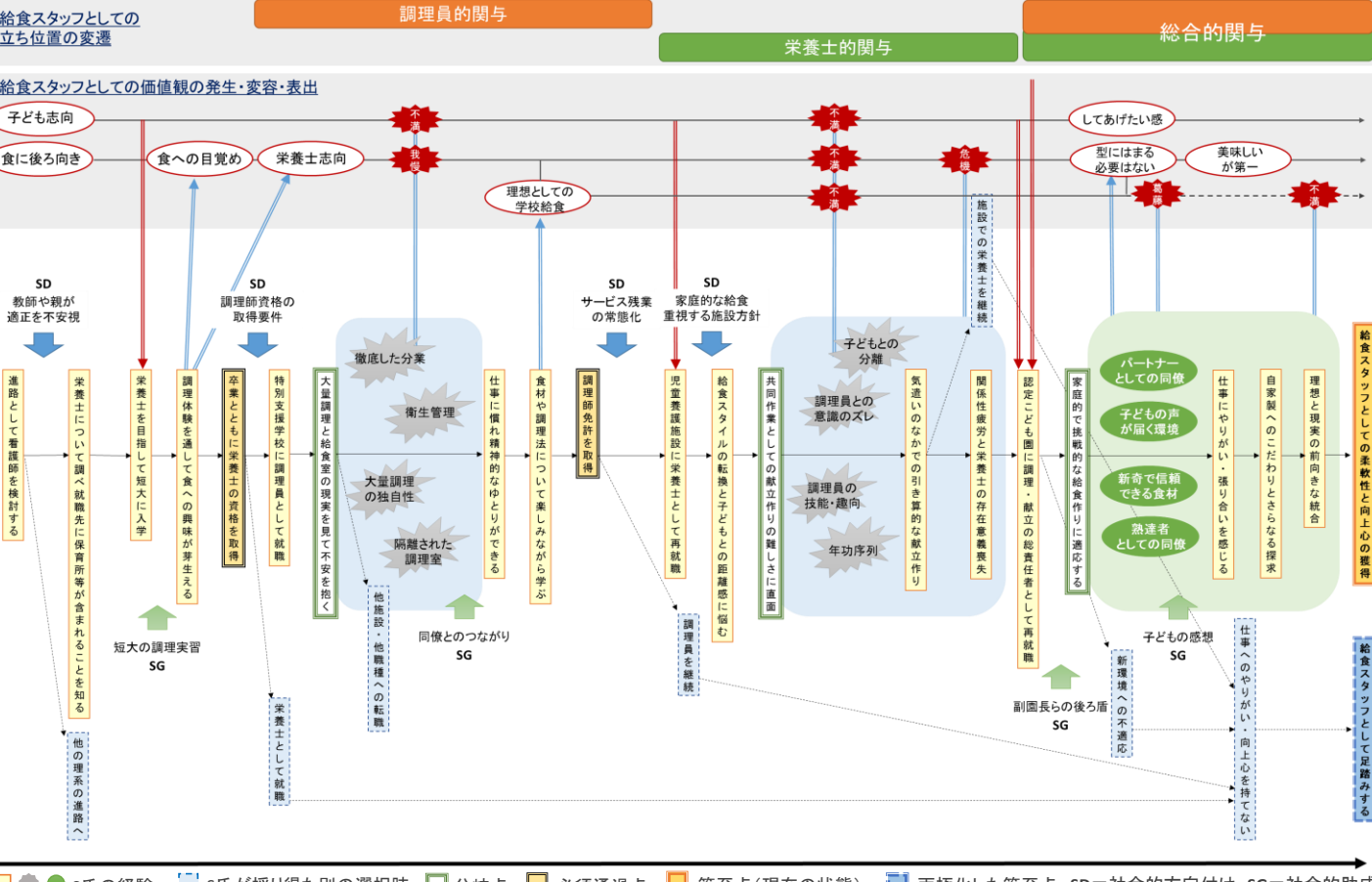
方法: 半構造化面接(約85分)
 主な質問項目:
 ① 現職に就いた理由や学歴・職歴
 ② 以前の職場での業務内容と経験
 ③ 現在の職場での業務内容と経験
 ④ 総括と今後の展望など

● データの分析とTEM図作成

- ① インタビューデータの文字起こし
- ② SCAT(大谷 2011)を用いてデータのストーリーライン・理論記述の作成
- ③ ②に基づきS氏が栄養士を志してから現在の状態に至るまでの経験のプロセスをTEM図化(サトウ 2007)

結果

S氏が給食スタッフとしての柔軟性と向上心を獲得するまでのプロセス



考察

- ・勤務先に保育施設を選択する給食スタッフの根本的価値観として存在する「子ども志向」
- ・確立された給食スタイル(献立作り・衛生管理の基準等)は頑強で変化への適応を妨げる
- ・同僚、保育者、子どもなどの人的環境が給食スタッフのモチベーションと向上心に影響
- ・変化や新奇的要素に対する柔軟性・適応力は経験のなかで獲得される
- ・日常業務のなかでの充足が価値観の発展と自己への肯定を促す

- 給食スタッフの経験の質を左右する要因として「子ども志向」・給食スタイル・人的環境・経験
- 安心できるチャレンジングな環境と食べ手からのフィードバックが給食スタッフのパフォーマンスと専門性の向上につながる
- 栄養士と調理員の間でギャップが存在?